

大槌刺し子プロジェクト (岩手県大槌町)



一針ずつ丁寧に作業する女性ら (11月22日、岩手県大槌町で)

2011年の東日本大震災で被災した大槌町の女性たちによる伝統手芸「刺し子」制作を通じて作り手の支えなどを展開する「認定NPO法人・ルネッサンス」(京都市)が運営する。かめをあらった布巾やコースターなどをすべて手作りで制作。同時に、震災で破壊になった人と空うきつけになったりした。現在は、主に60〜80歳の女性15人で活動。作り手の大沢美恵子さん(73)は「住まいの再建で大変だったが、刺し子のおかげで出会いが広がり、気持ちが良いとなった」と振り返る。現地スタッフの黒沢かほりさん(46)は「製品を通して、ものづくりの良さや、コミュニティの大切さを幅広い世代に伝えていきたい」と力を込める。

伝統手芸「刺し子」継承

女性の生きがいづくり、なげよう活動が始まり、同年8月からは海外で災害支援などを展開する「認定NPO法人・ルネッサンス」(京都市)が運営する。かめをあらった布巾やコースターなどをすべて手作りで制作。同時に、震災で破壊になった人と空うきつけになったりした。現在は、主に60〜80歳の女性15人で活動。作り手の大沢美恵子さん(73)は「住まいの再建で大変だったが、刺し子のおかげで出会いが広がり、気持ちが良いとなった」と振り返る。現地スタッフの黒沢かほりさん(46)は「製品を通して、ものづくりの良さや、コミュニティの大切さを幅広い世代に伝えていきたい」と力を込める。

【高齢者福祉部門】



読売福祉文化賞

第21回 受賞6団体

【一般部門】



読売福祉文化賞で就業経験者が運営する居酒屋(11月22日、山形県形原) (左端)

CINEMA

所には障害者が当たり前になかつたのは不自然だと、16年に1人田端近くにユバサカルシア駅近くをオープンさせた。全作品に日本語字幕と音声ガイドをつけ、完全防音の鑑賞室や車いすスペースも備えている。

映画の感動を誰

検討中だという。平塚さんは「日常生活で知り合っていくことで、障害者の暮らしを人ごとではなく自分のこととして捉えられるようになるはず。そのきっかけ作りに取り組みたい」と話している。

NPO法人 CI

る団員もいた。「梓はめずでできることを伸ばそう」と5年自からオリジナルの脚本をスタッフが考案。個性の特性に合わせたセリフの内容を変え、発語が難しくても動きやダンスなどで表現できるよう工夫する。



定期公演に向けて練習に勤む団員さん (右)や団員ら(11月25日、北九州市)

今の時代にふさわしい福祉活動を実施している団体や個人を顕彰する「読売福祉文化賞」の受賞団体が決まった。今年で21回目を迎える一般部門で不登校などの若者の自立支援のためのフリースペースを運営し、就業支援の場を提供する「NPO法人W.I.T.H.優」(山形県米沢市)など団体、高齢者福祉部門で高齢化率の高い大規模集合住宅で、長年にわたり高齢者ための交流サロンを運営し、介護予防プログラムやランチを提供している「NPO法人いこの家夢みん」(横浜市)など、受賞団体に対して活動資金として10万円が贈られる。福祉の現場から時代合った活動を紹介する。



「歌声喫茶」の参加者たち (11月20日、横浜市戸塚区)

を受けたのが第一歩となる。その後には介護予防などに活動を拡大し、2014年に団地近くの空き店舗に拠点を移した。現在は歌声喫茶、パソコン教室、健康体操など多彩なプログラムを年間70日以上開催している。買い物、びみ出しなどを住民が支援する「ボランテニアバンク」も運営する。団地は入居開始から半世紀ほど、住民は高齢化している。別の空き店舗を借り受けた。伊藤真知子理事長(73)は「新たな挑戦をするなら今しかない」と決断しました」と語る。まずは昼食の提供を中心に、新しい居場所づくりを進める。

高齢化団地に「居場所」

社会福祉法人 まるこ福祉会 (長野県上田市)



施設内のホールでボッチャを楽しんでいる人たち (11月17日、長野県上田市)

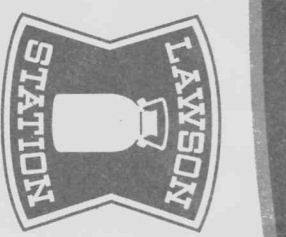
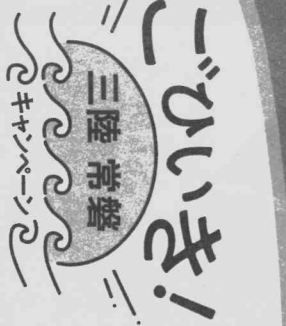
東日本大震災での支援活動を通じて、高齢者も交流の場を拡大し、2014年に団地近くの空き店舗に拠点を移した。現在は歌声喫茶、パソコン教室、健康体操など多彩なプログラムを年間70日以上開催している。買い物、びみ出しなどを住民が支援する「ボランテニアバンク」も運営する。団地は入居開始から半世紀ほど、住民は高齢化している。別の空き店舗を借り受けた。伊藤真知子理事長(73)は「新たな挑戦をするなら今しかない」と決断しました」と語る。まずは昼食の提供を中心に、新しい居場所づくりを進める。

相談相手、余暇も充実

設立し、高齢者重視の活動を本格化させた。16年には施設内に「サロン」があったか曜日、3人のボランティア活動も「サロン」が中心となって活動が続いている。障害者も高齢者も「会ったら誰か話せる環境作り」に努めている。平均年齢が76歳という地元の高齢者が30人が2015年、ボランティア団体「チームあつたかい輪」を創設し、笑顔で話す。家庭内の問題が解決し、子供が学校に復帰するといった効果も出てきた。

施設のホールでは、ヨガ、ボッチャの講座をはじめ、講演会やコンサートを開き、高齢者に開放。月替わりの写真展や絵画展を開催するなど活動の幅が広がる。柳沢正敏理事長(73)は「今後とも高齢者を重視した事業を充実させたい」と将来像を見据えている。

いっものコンビニでも、ごひいきに!



コンビニ3社同時開催!

お近く三陸常盤がセブン-イレブン、いっものコンビニ各社オリ